

完了後の評価個表

整理番号	1 - 1
------	-------

事業名	(林業地域総合整備事業) 森林居住環境整備事業	都道府県	群馬県
地域(地区)名	かながわ 神流川地区	事業実施主体	群馬県、神流町
関係市町村	神流町、上野村、藤岡市	管理主体	神流町、上野村、藤岡市
事業実施期間	H13 ~ H17 (5年間)	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>位置等 当地区は、群馬県の南西部、埼玉県との県境部に位置し、東側に向かっては平坦部が開けているが、それ以外は急峻な山岳が連なっている地域である。関東平野北部縁辺部にあり、神流川の水源地帯をなしている。下仁田町、南牧村、埼玉県秩父市、小鹿野町に隣接している。</p> <p>森林の状況 当地区の森林面積は、31,209ha、そのうち人工林が14,695haを占めており、間伐等の森林整備が必要となるから 齢級の森林が5,015haで約34%を占めている。</p> <p>また、地区内の森林のうち、水源涵養保安林に11,967ha、土砂流出防備保安林に3,212ha指定されており、森林の持つ公益的機能を高度に発揮させるための森林整備の実施が期待されている。</p> <p>当地区を整備する目的・意義 当地区においてはこれまでに14,695haの人工林が造成され、森林蓄積は着実に増加しているものの、その多くは保育・間伐等が必要な段階にある。森林所有者等の森林整備に対する意欲の低下が懸念される中で、森林の有する公益的機能の高度発揮に対する国民の期待が高まっていたところである。</p> <p>また、当地区には森林整備を効率的に実施するための根幹となる林道等の路網が十分に整備されていなかったことから、適切な森林整備の遅れが目立っていた。</p> <p>このため、林業生産基盤の整備や森林の公益的機能の高度発揮等を目的として、施業の必要な森林への到達時間の短縮、労働力や資材の効率的な移動等により林業労働の軽減及び森林施業コストの低減を図り、森林整備を促進することを目的に林道を整備した。</p> <p>地区内の間伐材等を取り扱う原木市場が取扱量の増大に伴い手狭となったため、新たな流通・加工拠点として原木市場と木材加工施設を配する県産材センターを整備するための用地整備を行った。</p> <p>(事業概要)</p> <p>森林基幹道整備</p> <table border="0"> <tr> <td>ななくぼはしくら 七久保橋倉線</td> <td>車道幅員 4.0m</td> <td>開設延長 1,211m</td> <td>利用区域面積 2,518ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長 181m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>うえのおおたき 上野大滝線</td> <td>車道幅員 4.0m</td> <td>開設延長 1,445m</td> <td>利用区域面積 1,429ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長 173m</td> <td></td> </tr> </table> <p>森林管理道整備</p> <table border="0"> <tr> <td>あかくな 赤久縄線</td> <td>車道幅員 3.0m</td> <td>開設延長 2,353m</td> <td>利用区域面積 227ha</td> </tr> <tr> <td>ふたごやま 二子山線</td> <td>車道幅員 3.0m</td> <td>開設延長 1,583m</td> <td>利用区域面積 523ha</td> </tr> <tr> <td>ヤノタワ線</td> <td>車道幅員 3.0m</td> <td>開設延長 200m</td> <td>利用区域面積 81ha</td> </tr> </table> <p>用地整備</p> <table border="0"> <tr> <td>けんさんざい 県産材センター造成</td> <td>3.94ha</td> </tr> </table> <p>総事業費 3,429,300千円 (当初総事業費 3,371,880千円)</p>	ななくぼはしくら 七久保橋倉線	車道幅員 4.0m	開設延長 1,211m	利用区域面積 2,518ha			改良延長 181m		うえのおおたき 上野大滝線	車道幅員 4.0m	開設延長 1,445m	利用区域面積 1,429ha			改良延長 173m		あかくな 赤久縄線	車道幅員 3.0m	開設延長 2,353m	利用区域面積 227ha	ふたごやま 二子山線	車道幅員 3.0m	開設延長 1,583m	利用区域面積 523ha	ヤノタワ線	車道幅員 3.0m	開設延長 200m	利用区域面積 81ha	けんさんざい 県産材センター造成	3.94ha
ななくぼはしくら 七久保橋倉線	車道幅員 4.0m	開設延長 1,211m	利用区域面積 2,518ha																												
		改良延長 181m																													
うえのおおたき 上野大滝線	車道幅員 4.0m	開設延長 1,445m	利用区域面積 1,429ha																												
		改良延長 173m																													
あかくな 赤久縄線	車道幅員 3.0m	開設延長 2,353m	利用区域面積 227ha																												
ふたごやま 二子山線	車道幅員 3.0m	開設延長 1,583m	利用区域面積 523ha																												
ヤノタワ線	車道幅員 3.0m	開設延長 200m	利用区域面積 81ha																												
けんさんざい 県産材センター造成	3.94ha																														

費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成23年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。 用地整備の便益算出に用いる地代が事業採択時に比べて下落した。</p> <table border="0"> <tr> <td>総便益 (B)</td> <td>5,855,772千円</td> <td>(事業採択時</td> <td>4,880,464千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用 (C)</td> <td>5,693,707千円</td> <td>(事業採択時</td> <td>3,052,028千円)</td> </tr> <tr> <td>効果分析 (B / C)</td> <td>1.03</td> <td>(事業採択時</td> <td>1.60)</td> </tr> </table>	総便益 (B)	5,855,772千円	(事業採択時	4,880,464千円)	総費用 (C)	5,693,707千円	(事業採択時	3,052,028千円)	効果分析 (B / C)	1.03	(事業採択時	1.60)
総便益 (B)	5,855,772千円	(事業採択時	4,880,464千円)										
総費用 (C)	5,693,707千円	(事業採択時	3,052,028千円)										
効果分析 (B / C)	1.03	(事業採択時	1.60)										

<p>事業効果の発現状況</p>	<p>林道整備により森林施業地までの到達時間の短縮及び施業コストの低減が図られ整備前5年間の森林整備面積約2,965haに対し、整備後5カ年間で約3,501ha(1.2倍)に増加した。</p> <p>当事業で整備された県産材センター用地には、原木市場と木材加工施設が整備(いずれも他事業による)され、原木市場の原木取扱高は45,180m³/年に達し、地域林業の活性化に大きく貢献している。また、同施設においては地元住民を中心として49人の雇用が新たに創出されるなど、地域住民の生活安定化にも寄与している。</p> <p>林道赤久縄線や上野大滝線については、首都圏から日帰り圏内でもあることから、群馬県南西部にある御荷鉾山系の最高峰の赤久縄山や日本最古の三角点がある白髪岩、関東百名山の帳付山等への登山道、関東平野を一望できるみかば森林公園、平成21年から開催されている神流マウンテンラン等の利用者も多く、アクセス機能も備えており、年間利用者が整備前の約11,000人から整備後は約17,500人(1.6倍)に増加した。</p>
<p>事業により整備された施設の管理状況</p>	<p>林道は、神流町、上野村が定めた、林道管理規定に基づき適切に管理され、年数回の草刈りや側溝清掃、路面の修正等が行われ、良好な維持管理状況にある。</p> <p>県産材センターの用地は、藤岡市による定期点検等により適切に管理されており、良好な維持管理状況にある。</p>
<p>事業実施による環境の変化</p>	<p>林道整備により、森林施業地までの到達時間の短縮等により林業従事者の労働条件の改善や作業コストが低減され、森林所有者の森林経営に対する意欲が向上してきている。</p> <p>林道赤久縄線の開設により、林道を通して赤久縄山やみかば森林公園等を訪れる者が増加し、森林の持つ機能の理解に資している。</p> <p>林道整備による、野生動植物の生息・生育環境の悪化、渓流水の流量の減少などの影響は見られない。</p>
<p>社会経済情勢の変化</p>	<p>林道整備に伴い高性能林業機械が導入され、効率的な森林施業による労働強度の軽減や通勤時間短縮が図られるとともに、森林組合において新たな職員が採用されるなど、雇用の拡大が実現した。</p> <p>また、整備した用地上に原木市場と木材加工施設が整備されたことにより、地域林業の振興や地元における雇用創出が図られている。</p>
<p>今後の課題等</p>	<p>森林施業に対する所有者の意欲は徐々に改善されているが、長期的な木材価格の低迷等により人工林の間伐等への森林整備はまだ十分とはいえない状況にある。今後は、当該林道と林業専用道、森林作業道をつないだ路網整備や施業の集約化、高性能林業機械のさらなる導入等を実施し、より効率的かつ低コストな施業を引き続き推進していく必要がある。</p> <p>また、当該事業により整備された林道等については、引き続き適切な維持管理を行っていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の意見： 林道整備により森林へのアクセスが改善されたため、適切な森林整備が実施され、水源涵養や山地災害防止等の公益的機能の発揮が向上している。(群馬県) 当地区の主要となる林道整備が進み、流通・加工施設が整備されたことで森林所有者の経営意欲が高まり森林整備が活性化している。(神流町) 基幹林道の整備により、森林整備が促進されるとともに、登山や山菜採取のため地域外から多くの人を訪れている。(上野村) 県産材センターが整備されたにより雇用確保や地域振興が図られている。(藤岡市)
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 森林整備を効率的に行う基盤となる路網整備や、林業生産活動を活性化するため地元材の流通・加工拠点となる施設の整備が求められていたことから、事業の必要性が認められる。 ・効率性： 現地の条件に応じた工種・工法で計画が作成されるとともに、事業実施に当たっても現地発生木材を利用するなど、コスト縮減に努めたことから事業の効率性が認められる。 ・有効性： 林道整備により森林へのアクセスや機能性が向上したことから、作業効率がアップし、森林整備や木材生産が促進されており、今後も一層の効果の発現が見込まれる。 <p>また、用地整備上に設置された県産材センターにより、地域木材の供給先が安定するとともに、雇用創出など地域振興にも寄与していることから事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林居住環境整備事業

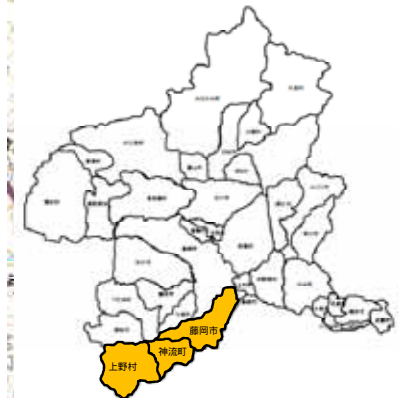
都道府県名：群馬県

地域(地区)名：^{カナガワ}神流川地区

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	252,473	
	木材利用増進便益	92,358	
	木材生産確保・増進便益	3,024,605	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	283,786	
	治山経費縮減便益	28,573	
	森林管理等経費縮減便益	19,523	
	森林整備促進便益	1,408,006	
森林の総合利用便益	アクセス時間短縮等便益	50,105	
	ふれあい機会創出便益	82,652	
	フォレストアメニティ施設利用便益	135,742	
災害等軽減便益	防火帯便益	19,613	
	災害復旧経費縮減便益	169,955	
維持管理費縮減便益		4,491	
山村環境整備便益	土地創出便益	283,890	
総 便 益 (B)		5,855,772	
総 費 用 (C)		5,693,707	
費用便益比	$B \div C = \frac{5,855,772}{5,693,707} = 1.03$		

森林居住環境整備事業 神流川地区(群馬県)概要図



神流町役場

上野村役場

凡 例	
市町村界	
区 域	
施行箇所番号	
施行箇所	
	森林基幹道 七久保橋倉線
	森林基幹道 上野大滝線
	森林管理道 赤久縄線
	森林管理道 二子山線
	森林管理道 ヤノタワ線
	用地整備 県産材センター